

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-190387

(43) 公開日 平成7年(1995)7月28日

(51) Int.Cl.⁸

F 2 4 C 15/10

識別記号

E

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平5-336142

(22) 出願日 平成5年(1993)12月28日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 森 大策

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 山村 正道

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74) 代理人 弁理士 小鍛冶 明 (外2名)

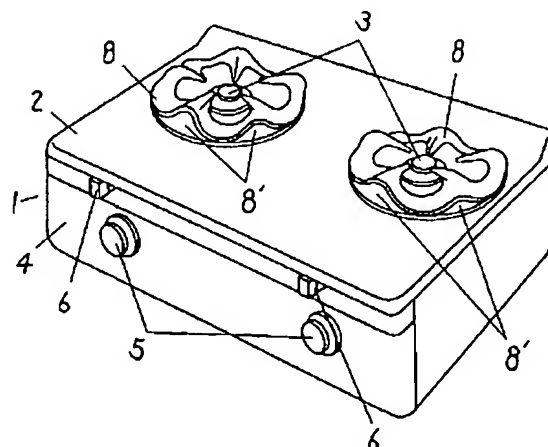
(54) 【発明の名称】 ゴトク

(57) 【要約】

【目的】 ガスコンロに使用される“ゴトク”に関するもので軽量でかつ付着した汚れを掃除しやすく簡単な構成とする。

【構成】 鍋などをのせる載置部8” 接置部8”’を含め他の構成部を一枚の鋼板で一体化したもので鋼板を打ち抜き後成形したもので曲面状の五個所の載置部8”と載置部8”の裏側にはドーム状空間部8’を設け燃焼に必要な空気の導入口とするものである。“ゴトク”8上の調理物の吹きこぼれや油等は“ゴトク”8表面に付着するが鋼板製の円滑な曲面形状のため、掃除が容易となる。

8 ゴトク
8’ ドーム状空間部
8” 載置部
8”’ 接置部



【特許請求の範囲】

【請求項1】 鍋等をのせる載置部と、ガスコンロに接する接置部とを有し、前記載置部と接置部を一体に形成するとともに、載置部の下部にドーム状空間口を設けたゴトク。

【請求項2】 外観形状から鋭角部分をなくし、滑らかな曲面形状である請求項1記載のゴトク。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明はガスコンロに使用されるゴトクに関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、ガスコンロは生活に密着した商品として一般家庭に広く普及している商品であり、その機能・形状も類型化しており、鍋等を保持するゴトクも鋼鉄製でホーロー加工のものが主流である。

【0003】従来、この種のゴトクは、図5に示すようなガスコンロの構成の中に収まっているのが一般的であった。以下その構成について図6、図7を参照しながら説明する。

【0004】図5に示すように、1はガスコンロ本体で、このガスコンロ本体1の上板2には横方向に所定間隔をおいてバーナー3が設けられている。このバーナー3は前板4に設けたつまみ5、レバー6によって点火／消火・火力調節が行なわれるようになっている。またバーナー3の周囲の上板2には、鍋等をのせるゴトク7が設けられている。

【0005】上記構成において、ゴトク7はバーナー3の周囲に位置して、鍋等を保持するようになっているが、その載置部（ゴトクの爪）7'は、バーナー3から噴出する火炎が接するので極めて高温となり、劣化しやすい、又、鍋等の重量を支える為、非常に強固な構成体を要求される部分である。

【0006】この為、図6に示すようにこの載置部7'を鋼鉄のプレス材の部品として独立させ、ゴトク本体7'にカシメ、又は溶接工法で接合するという一般的な構成が採用されている、又図4で示すように、バーナーを燃焼させる空気の流れは、ゴトクの各載置部と鍋等の間の空間を通じて行われているが、効率良く燃焼させる為には、ゴトクの載置部の高さ、形状は重要な要素であり常に安定した空気の供給が要求されている。

【0007】上記のように、ガスコンロは一般的に類型化された形状、方式であり、ゴトク自体も武骨な形状をまねがれず、意匠的に効果の高いものは少ないものであった。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】このような従来のゴトクでは、鍋等の重量を支えることができる強固な構成体にするため、ゴトクの総重量が増加し、小柄な女性や、特に高齢者にとっては、扱いにくい「重いゴトク」にな

っていた。又、図7に示すようにゴトク本体7'とゴトク載置部7'の接合部は直角状に接する部分になり、特にこの部分に鍋等から吹きこぼれた食品や油、水分等の汚れがタール状に付着し「汚れやすく、掃除のしにくいゴトク」になっており、手入れのしにくい使い勝手の悪いものになっていた。

【0009】さらに、上記の条件から、その形状にも制約がありバーナーの燃焼条件をより万全にする為に効率良く燃焼空気の流れを確保することが課題であった、又上記の制約から意匠的效果の高いものを表現することは難しかったのである。

【0010】本発明は上記課題を解決するもので、軽量で、かつ、付着した汚れを掃除しやすいという簡便なゴトクを提供することを目的としている。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明は上記目的を達成するために鍋等をのせる載置部と、ガスコンロに接する接置部とを有し、載置部と接置部とを一体に形成するとともに、載置部の下部にドーム状空間口を設けたものである。

【0012】又、外観形状から鋭角部分をなくし、滑らかな曲面形状にしたものである。

【0013】

【作用】本発明は上記した構成により、ゴトクを一体化形状にさせているので、ゴトクの重量を軽量化することができ、表面の形状を滑らかな曲面形状にしているため、ゴトクの掃除が容易であるとともに、周囲に燃焼空気口を設けているため、効率よく燃焼空気の流れを確保することができるものである。

【0014】

【実施例】以下、本発明の一実施例について、図1、図2、図3を参照しながら説明する。

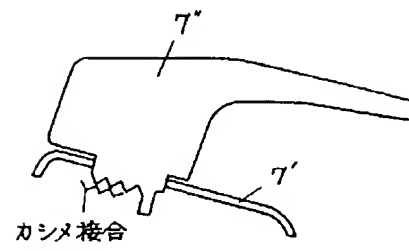
【0015】図1に示すように、ゴトク8は鍋等を保持する載置部を含め、一体構成化された単一品である。本実施例のゴトク8は、鋼鉄製の板を打ち抜き加工で成型した5個所の載置部8'を持つものであるが、5個所の載置部8'に限らない。鍋等を載せる載置部8'の下部外周部にはドーム状空間口8'を設けており又ガスコンロには接置部8''で接し、中央に配されるバーナー燃焼部に、燃焼に必要な空気が流入する導入口の役割を果たすように配慮してある。

【0016】上記構成において動作、効果を説明すると、ゴトク8が保持する鍋等から吹きこぼれた食品や油、水分等の汚れは、ゴトク8表面に付着するが、ゴトク8の表面は、円滑な曲面形状である為、付着した汚れを取り除く際の手入れを極めて簡単にすることができる。又、載置部8'の外周部にはドーム状空間口8'から中央に配されるバーナー燃焼部に必要な空気が円滑に流れるので、効率良い燃焼結果が得られる。又、曲面形状の構成である為、武骨な意匠から、鋭角部の無い、柔

(4)

特開平7-190387

【図6】



3

らかな意匠効果の高いゴトク形状が展開できる。

【0017】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明によれば、一体成型してある為、ゴトクそのものの重量を軽量化することができ、軽く扱いやすいゴトクを提供できる。又、ゴトク表面が曲面状の平滑面である為、付着した汚れを簡単に取り除くことができ、手入れの行ないやすい使い勝手の良いゴトクを提供できる。さらに燃焼用の空気導入口がある為、効率良い燃焼ができるゴトクを提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例のゴトクを用いたガスコンロの斜視図

4

【図2】同ゴトクの平面図

【図3】同ゴトクの側面図

【図4】従来のゴトクの各載置部と鍋との間の空気の流れを示す図

【図5】従来のゴトクを用いた一般的なガスコンロの斜視図

【図6】従来のゴトクの本体とゴトク載置部（ゴトクの爪）の構成を示した部分拡大図

【図7】同部分斜視拡大図

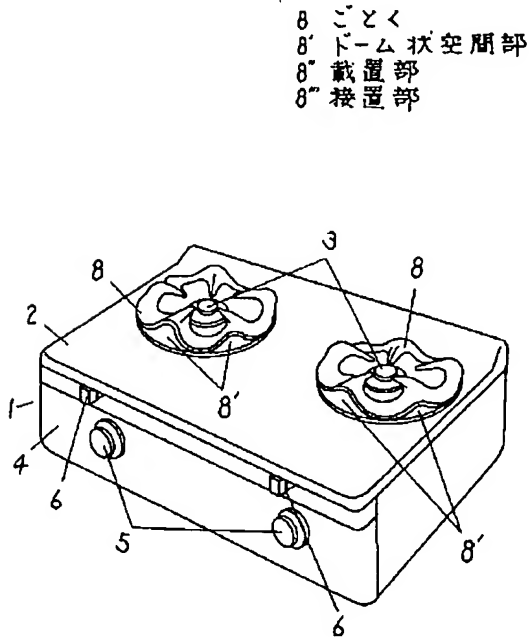
10 【符号の説明】

8' ドーム状空間部

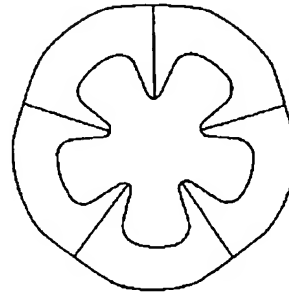
8'' 載置部

8''' 設置部

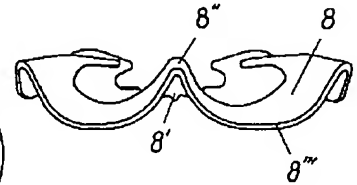
【図1】



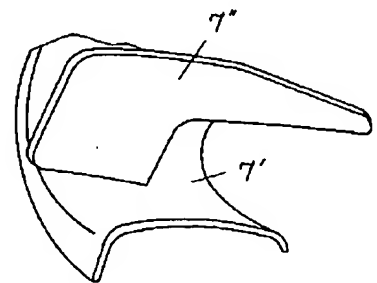
【図2】



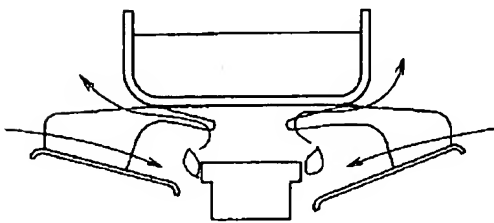
【図3】



【図7】



【図4】



【図5】

